

介護の相談はどこへ

答 地域包括支援センターなど



伊佐 園恵 議員

一般質問 伊佐 園恵 議員

問 介護が必要になったとき相談できる場所はどこか。

副町長 地域包括支援センターのほかに、社協の在宅介護支援センター及びコミュニケーションソーシャルワーカー等が相談先である。

問 支援の例をあげよ。

副町長 「認知症かな？」と思ったときの家族相談、担当職員による病院等へのつなぎ、家族のリフレッシュのサポート等がある。また認知症カフェを通じ当事者同士のつながりの場への案内等もある。

問 介護が必要になったときに、準備ができていないと慌てる。認知症以外で悩み、困る方も多い。例えば「がん」も介護保険が使える場合があったり、多様なケースがある。できるだけあわてないよう準備することが大切である。窓口へしつかりとつなげてもらえるか。

保健福祉課長 日頃より高齢者や、本町に住んでいる方の相談を受けている。地域包括支援センター（役場2F）へ相談された方の希望に沿い対応をしている。



南風原町地域包括支援センター



問 誰にも最期がある。自身、家族、地域の方々等ができるだけ希望どおりに迎えられるように本町も準備されている。資料の一つに「認知症の本人が読む本」もある。また、ヘルプを本人が受け入れないこと等もある。家族任せではなく、本人も勉強することは重要である。日常はとも忙しく大変だが、情報を

集める、勉強することは重要である。町も同じ考えか。

保健福祉課長 もしもの時に備えての対応はとても重要である。本町でも、南部医師会の南部在宅医療介護支援センターに委託し、各地区において出前講座を行っている。その中に、「もし介護が必要になったら」「人生会議、もしもの時の話し合い」という講座も提供している。各地域にも情報提供していく。

一こんな質問もしました

- 包括的教育を推進しているか
- 南風原町公式LINE登録を促進してほしい
- mobiのわかりやすい利用
- こどものSOSをうけとめる場所はどこか
- 不登校は問題行動でない、町の見解は